

第8回補助金検討委員会議事録（議事要旨）

1 開催日時 平成16年10月7日（木） 午後7時00分～午後9時00分

2 開催場所 浦安市役所第3庁舎第2会議室

3 出席者

（委員）

小泉 允 囿 委員長、川口 明 浩 副委員長

大川 三 敏 委員、渡邊 襄 一 委員、野崎 実 委員

藤岡 順 次 委員、館 里 枝 委員、仲澤 泰 委員

（事務局）

新宅 秀 樹 財政課長、及川 力 主 査

渡辺 豊 副主査、玉野 広 宗 主任主事

4 議 題

(1) 平成17年度当初予算について

補助金チェックシートについて

(2) その他

5 議事の概要

(1) 平成17年度当初予算について

平成17年度の当初予算の要求にあたって、既存の補助金についてチェックシートによるチェックを行った上で、予算要求を行うこととした。

今回の検討会においては、チェックシートについての議論を行った。また、市当局にチェックシートによる調査の実施を行うこととした。

(2) その他

次回会議の開催は、11月11日（木）と決定した。

6 会議経過

9月議会において、数名の議員から補助金検討委員会での活動等についての質問があり、その中で何らかのかたちで平成17年度の予算に反映させたらどうかといった意見があった。それを受けて、補助金検討委員会において、他市の書式等を参考にチェックシートを作成し、既存補助金の再チェックをした上で、予算要求を行うこととした。

（1）補助金チェックシートについて

委員：最後のコメント欄に、団体側のコメントを記載してもらったらどうか。団体側もチェックシートにふれる事によって、どういう事が問題になっているのかが分かるのではないか。

また、理由を記載する欄を大きくした方が良い。

委員：チェックシートを使って評価する事は良いと思うが、ある意味無理もあると思う。実際問題として、1.(4)の補助申請の際の数値目標の設定及び事前評価の実施は難しいと思う。

また、市の事業の委託的な目的で補助金を交付している場合、交付を受けている団体のみが、事業者として成り立つものなのか？ その場合、補助金が適正なのか、場合によっては委託する方法もあるのではないか。

委員：今までに無いものだからあれば良いと思うが、このチェックシートを誰がどのように判断するのかが明らかでないと、この委員会での判断材料にはならない。

委員：担当部長のコメントが入るだけでも、市側と交付団体側の意識は変わってくると思う。それに対して委員会がどう判断するかである。その場合、委員会のコメント欄も必要になってくるのではないか。

委員：委員会がこのまま続くのは本来の趣旨ではない。補助金に対して明確な判断基準をつくり、市側に提案するのだが、その後、市がどのように活用していくかが重要である。

委員：合規性、有効性、効率性以外に経済性についても必要である。

（事務局） 2.(6)の交付事務の効率性の中に経済性が含まれている。

委員：このチェックシートは、補助金行政の改革の第一段階であると思う。補助金割合等の決定方法については、交付事務を担当する職員もそうだが、交付団体が危機感を持つような方法が良い。

委員：文言規定で補助対象が明確になっているならば、翌年度への繰越金は有り得ない。また、抽象的な補助対象については、「補助対象は要綱等により明示されている」とは言えないはずである。

（事務局） 「～に必要な経費」等の抽象的な規定については、「明示されていない」とするよう記載要領を作成する。

このチェックシートについては、予算要求にあたっての基礎資料であるとともに、補金金検討委員会の検討資料となるものである。

なお、本日の委員からのご意見を踏まえて、委員長と事務局でチェックシートの修正を行い、調査を実施することについて、委員から了承を受けた。